

令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 29号

令和6年11月7日(木)発行

校長 関根 崇史

ちょっと気になる 小学生のお金の使い方



坂東小学校の子供たちは、本当によく話しかけてきてくれます。子供たちとの何気ない会話は楽しいものですが、最近ちょっと気になることがあります。それは、「お金の使い方」についてです。私が古い人間だからなのかもしれませんが、自分が子供の頃とは、ずいぶんと金銭感覚が変わってきているように感じます。「友達とゲームセンターに行って、クレーンゲームで〇千円使ってしまった」とか「オンラインゲームで、これまでに〇万円課金してます」など、一度に数千円から万単位のお金を使ったという話を、子供たちから聞く機会が増えてきました。また、友達にかなり高額のを買ってあげたり、おごってあげたりというケースも出てきています。さらには、現金をそのまま友達にあげてしまったなどということもありました。

お金を使うのが悪いというわけではありません。「お小遣いを何ヶ月も貯めて、ずっとほしかった●●を買った」というのであれば、何ら問題はないのです。問題なのは、お金の価値やお金の意味を分からないまま、高額のお金を持つこと、使うことだと思います。

日本では、2022年に高校で資産形成に関する授業が必修化されました。現状、小学校では行われる予定はないため、小学生に対してのお金の教育は家庭にお願いする部分が多くなります。小学生の段階では、お金の基礎について、各家庭で指導をお願いできたらと思っています。その際、以下の4点を意識して伝えていってください。

お金は「ありがとう」の対価

お金は「ありがとう」から生まれるものです。相手に価値を提供した結果、相手は「ありがとう」の気持ちでお金を払ってくれています。人から「ありがとう」をもらうことが、お金を稼ぐということなのです。お金は勝手に、無限に出てくるものではなく、お母さんやお父さんが、どこかで「ありがとう」と交換した大切なものであるということを伝えていってください。

お金の貯め方、使い方

お金を貯める力と使う力は、お金に関する基本的な力で、小学生のうちから身に付けることができます。貯める力を身に付けるには、貯めたという実感が得られやすい貯金箱がお勧めです。小銭が増えていくのを目で確認ができるため、自分が管理して貯めていったという感覚を得られます。また、貯めるためには使い方も重要です。貯められたとしても、何に使ったかわからないというのでは困ります。物を買うときには、本当に必要なものなのか判断できるようにサポートしてあげてください。さらには、何に使ったか、どのように使ったかを把握できているかどうか定期的を確認してみてください。

友達同士の貸し借り禁止

お金の貸し借りについても早い段階で指導しておくことが大切です。お金の貸し借りは、大人でもトラブルにつながりやすいものです。お金に関係するトラブルは、友人関係がこわれてしまったり、子供が苦勞するきっかけになってしまったりするかもしれません。そのようなことにならないように、友達同士の貸し借りは絶対にしないということを繰り返し伝えていってください。

困ったら必ず相談

普段から家族や周りの大人に相談する癖をつけておくことで、金銭トラブルを防止したり、万が一巻き込まれてしまった場合でも他の人の力を借りたりして解決方法を見つけることができます。子供のうちは、保護者が入って対応することができれば、解決できる場合がほとんどです。しかし、大人になると、扱った金額も大きくなるため、対応するのが難しくなっていきます。だからこそ、トラブルに巻き込まれる前に相談をしたり、巻き込まれたとしても早めに相談したりすることを家庭内で確認しておいてください。